レンジフード

保管用

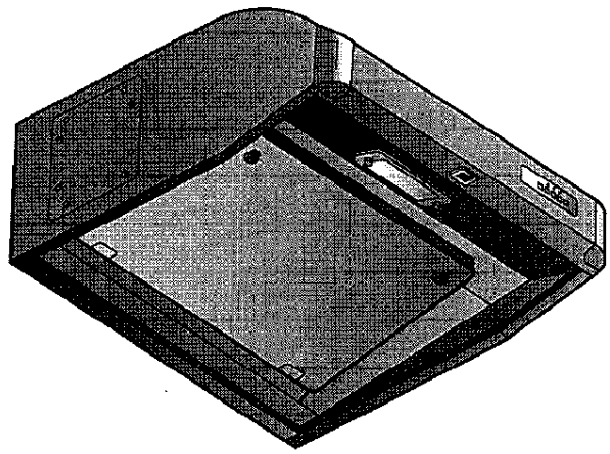
浅型タイプ

施工説明書

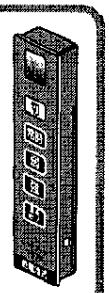
品番：

E60ABWZ3R（Rタイプ）　E60ABWZ3L（Lタイプ）
E75ABWZ3R（Rタイプ）　E75ABWZ3L（Lタイプ）
S60ABWZ3R（Rタイプ）　S60ABWZ3L（Lタイプ）
S75ABWZ3R（Rタイプ）　S75ABWZ3L（Lタイプ）

※ 品番の頭には「ＱＧ」などキッチンシリーズを示す英字２文字が入ります。



調理機器に付属のリモコンホルダー、または別売の壁付け用ホルダーに設置



■ 器具を正しく安全にご使用いただくために、施工の前にこの「施工説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
■ 条件をはずれた施工が原因で生じた故障及び損傷は保証期間内でも有料修理となります。
■ 電気配線工事は「電気設備技術基準」や「内線規定」に従って確実に行ってください。配線工事は、電気工事士の資格が必要です。
■ 設置工事は、建築基準法（同施行令）及び消防法などの関連法規に合わせて行ってください。
■ 施工終了後、動作確認を必ず行ってください。
■ この施工説明書と付属の取扱説明書・保証書は必ずお客様にお渡しし、大切に保管していただくようお願いをしてください。
■ 取扱説明書内の保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。

もくじ

■ 安全に関するご注意 ―― 1～2
■ 各部のなまえ ―― 3
■ 部品表・付属品 ―― 3～4
■ 別売部品 ―― 4
■ 寸法図 ―― 5
■ 配線図 ―― 6
■ 仕様 ―― 6
■ 施工前の確認 ―― 7～9
■ 施工のしかた ―― 10～17
■ 施工後の確認 ―― 18

販売店・工事店様へ：
この施工説明書は施工後、施主様へ必ずお渡しください。

この説明書は再生紙を使用しています。

1103 6981

安全に関するご注意 必ずお守りください。

■ ここに示した注意事項は、製品を正しく施工していただき、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。

■ 表示内容を無視し、誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	施工を誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合
⚠注意	施工を誤った場合、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

分解禁止

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。（左図の場合は分解禁止）

必ず守る

●記号は行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。

ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

⚠警告

分解禁止

● **修理技術者以外の人は、絶対に修理・改造しない。**

発火・感電したり、異常動作してケガをする原因となります。

アース線接続

● **D種（第三種）接地工事を行う。**

接地しないと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

必ず守る

● **メタルラス張り・ワイヤラス張り・または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス金属板とが電気的に接触しないよう取り付ける。**

接触して漏電した場合、発火したり感電することがあります。

● **必ず指定のねじを使用する。**

ケガや事故・故障の原因となります。

禁止

● **周囲温度が40℃以上になるところには、取り付けない。**

火災・故障の原因となります。

● **レンジフード本体の壁への埋め込みはしない。**

漏電した場合、発火するおそれがあります。

必ず守る

● **電気配線工事は「電気設備技術基準」や「内線規定」に従って確実に行う。**
配線工事は、電気工事士の資格が必要です。

感電・漏電や火災の原因となります。

● **自然排気型のストーブを使用するときは、空気の取入口（給気口）により、十分給気される配慮をする。**

配慮をしないと、排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。

● **排気工事をする場合、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って施工する。**

火災などの重大な事故の原因となります。

● **必ず交流100 Vを使用する。**

守らないと火災・感電の原因となります。

● **レンジフードの取り付けは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないようにする。**

漏電した場合、発火するおそれがあります。

安全に関するご注意（続き）

⚠注意

禁止

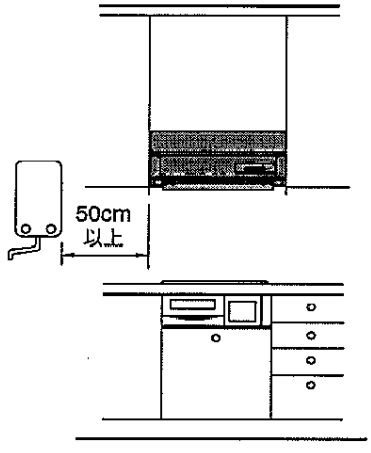
- **運転中は本体の中に指や物を入れない。**
  ケガや事故・故障の原因となります。
- **浴室など湿気の多い場所では使用しない。（浴室用換気扇を使う。）**
  感電や事故・故障の原因となります。

必ず守る

- **取り付け工事には手袋を着用する。**
  ケガをするおそれがあります。
- **部品の取り付けは確実に行う。**
  取り付けに不備があると落下により、ケガをするおそれがあります。
- **本体の取り付け工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う。**
  取り付けに不備があると落下により、ケガをするおそれがあります。

- **非常に長いダクトや細いダクト（φ150未満）、あるいは極端に屈折したダクトを使用しないでください。**
  排気効果をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなる原因となります。

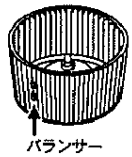
- **湯沸器を取り付ける場合は、フードより横方向50cm以上離してください。**



故障の原因となります。
レンジフード下部に湯沸器を取り付けないでください。

- **ファンの回転バランスをとるために、バランサー（重り）が付いている場合がありますが、絶対にはずさないでください。**

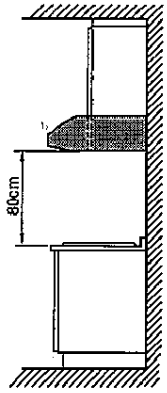
バランスがくずれ、吸い込みが悪くなったり、異音の原因となります。



- **ファンをはずした状態でモーターを回転させないでください。**
  回転数が上がり、モーターが焼き付くことがあります。

- **フード本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆ってください。**
  詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください。

- **製品はガス調理機器の真上に取り付けてください。なお、製品取り付け高さは、製品の下端がガス調理機器の真上80cmになるようにしてください。**

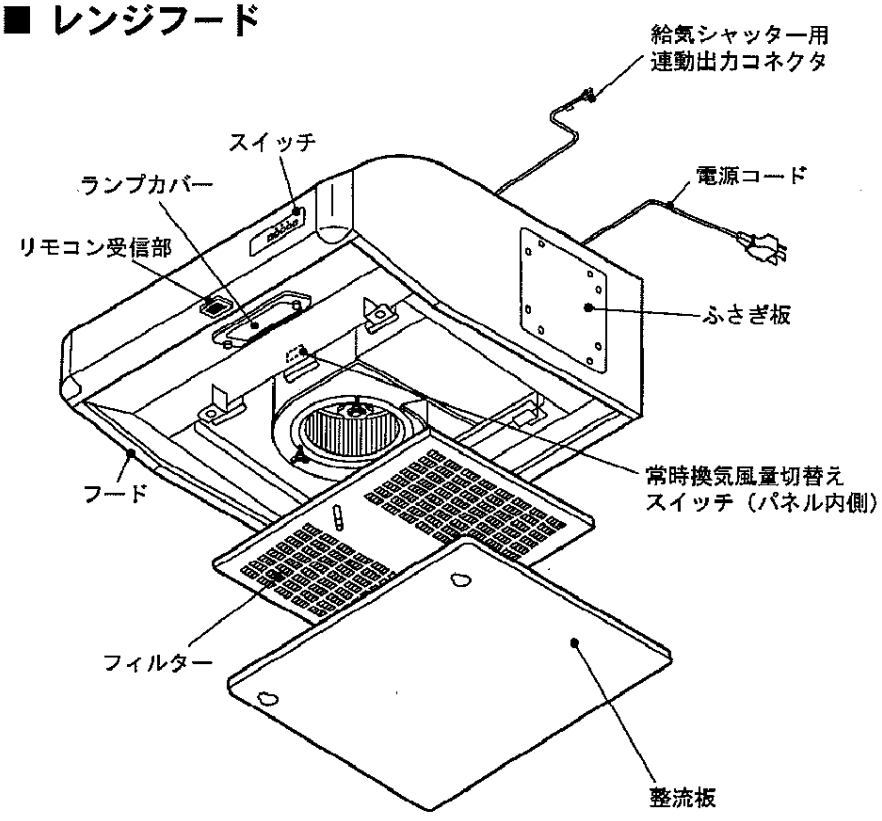


- **建物が密閉されている場合は、必ず400cm²程度の空気取入口を設けてください。**
  給気が不足すると、吸い込みが悪くなる・異音がする・扉が開きにくくなる・すきま風の音が大きくなるなどの現象が発生します。

- **部屋の中央で料理される場合は、油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。**

各部のなまえ

■ レンジフード



■ リモコン

※調理機器に付属のリモコンホルダーまたは別売の壁付け用リモコンホルダーに設置します。

部品表・付属品

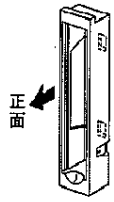
部品名	入り数
本体	1個
座付きねじ（φ 5.1 × 45）	4本
排気口	1個
ソフトテープ	1本
壁面取付け金具	2個
常時換気お願いラベル	1枚

部品名	入り数
リモコン	1個
乾電池（単4形マンガン電池）	2本

部品表・付属品 続き

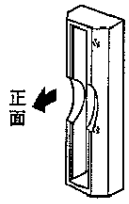
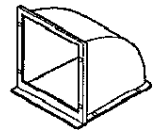
■ 調理機器付属部品

調理機器には専用のリモコンホルダーが付属されています。
(調理機器に付属の施工説明書に従い、取り付けてください)



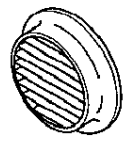
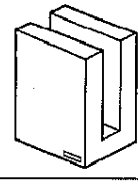
※外観は調理機器により若干異なります。

■ 別売部品 ※品番の頭には「ＱＧ」などキッチンシリーズを示す英字２文字が入ります。

姿図		
品名	壁付けホルダー	L型ダクト
品番	03AH1P	LD15
標準価格	1,050 円 (1,000 円)	2,625 円 (2,500 円)
用途	リモコン送信機を壁に取り付ける場合に使用します。	左上方、右上方排気の場合に、フードの上方で左右、または後方に向きを変えるときに使用します。

※上記の標準価格（平成17年9月現在）は消費税込み、（ ）内は消費税抜きです。
価格は変更になる場合があります。

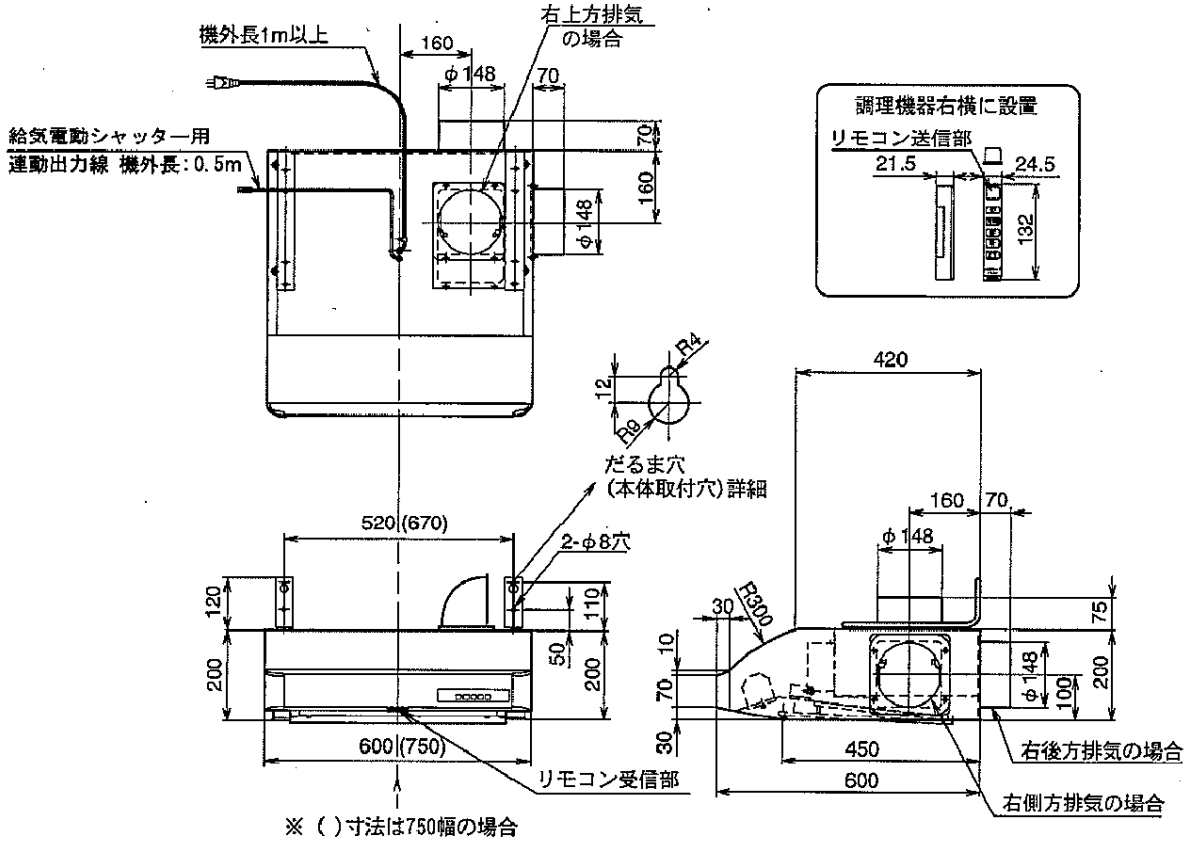
■ 現場調達部品 必要に応じ下記部材を別途手配願います。(FY-品番は松下電気産業(株)製です。)

姿図			
品名	パイプフード	ベントキャップ	給気電動シャッター
品番	FY-WKX062-SM FY-WKXB062-SM (防火ダンパー付)	FY-VCX062 FY-VCXB063 (防火ダンパー付)	FY-DQS063BL FY-DQSA063BL (防火ダンパー付)
用途	※24時間換気システム「換気上手」としてレンジフードを使用される場合には、パイプフードがセットになっていることがあります。詳しくは工務店様にご確認ください。		フードの運転と連動して開閉し、給気経路となるとともに、停止時に外気の侵入を防ぎます。

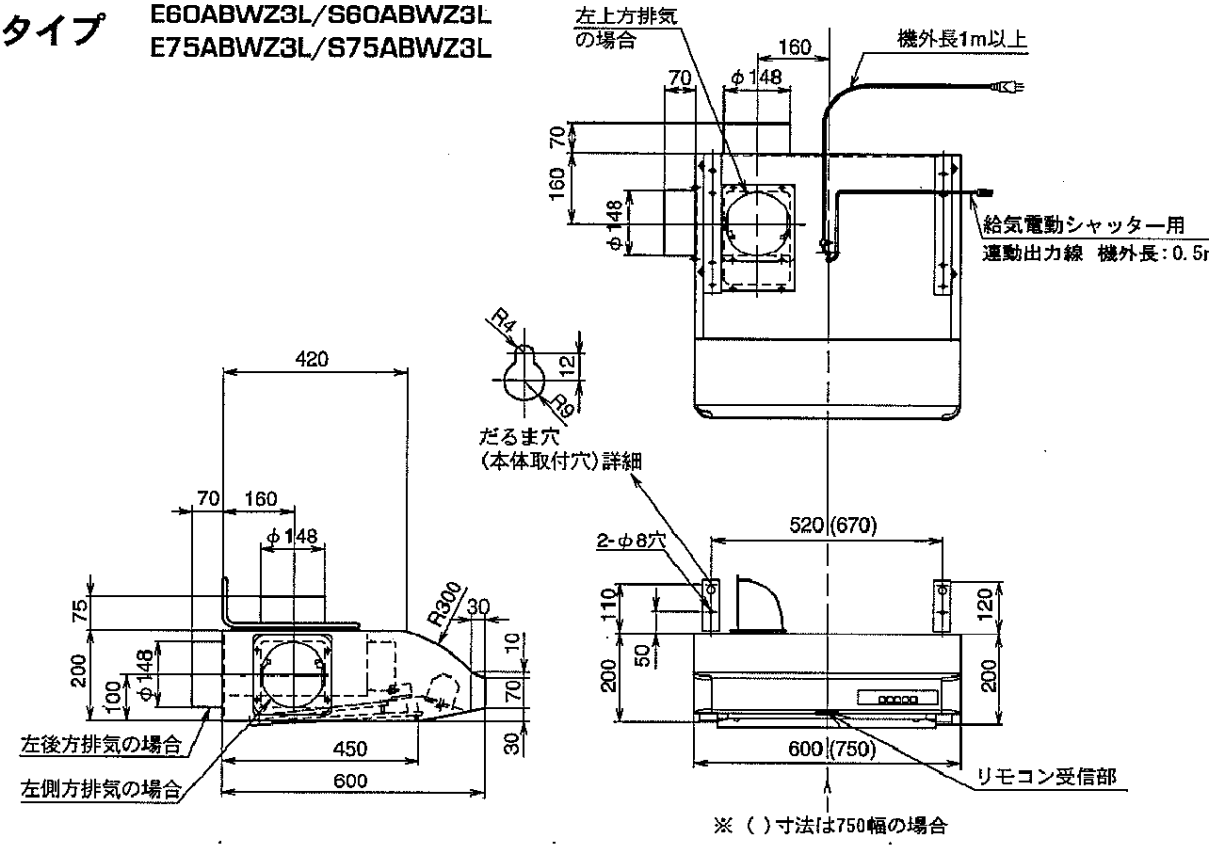
寸法図

(単位：mm)

Rタイプ　E60ABWZ3R/S60ABWZ3R
E75ABWZ3R/S75ABWZ3R

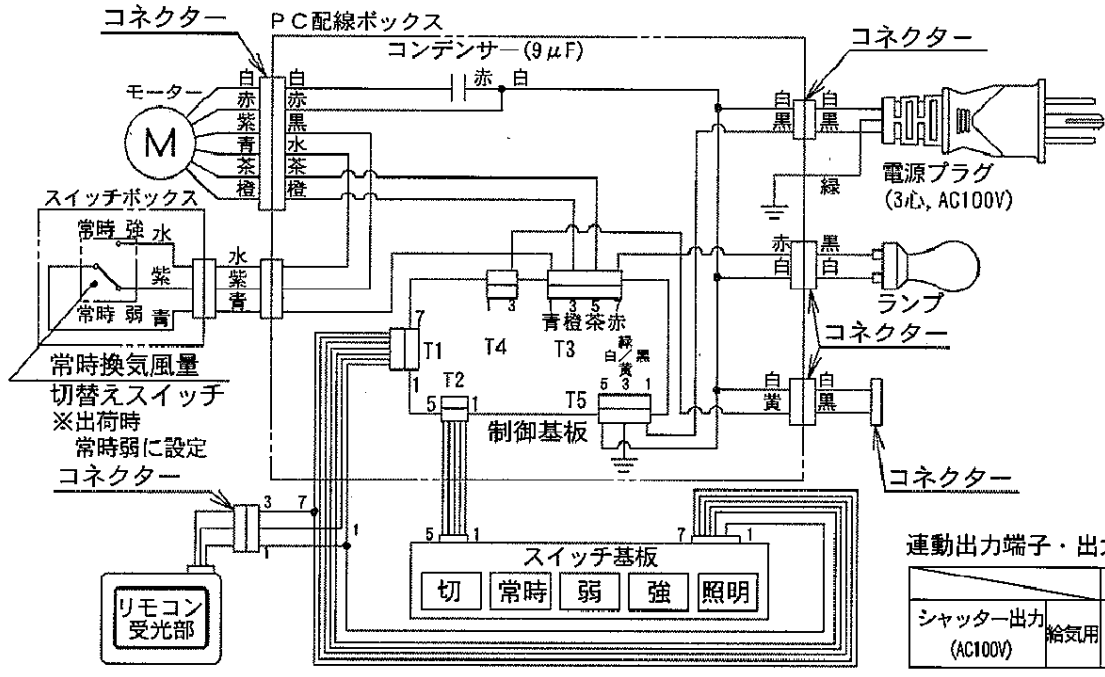


Lタイプ　E60ABWZ3L/S60ABWZ3L
E75ABWZ3L/S75ABWZ3L



配線図

■ E60ABWZ3R/L • S60ABWZ3R/L
E75ABWZ3R/L • S75ABWZ3R/L



連動出力端子・出力一覧

		常時	弱	強
シャッター出力 (AC100V)	給気用	OFF	ON	ON

仕様

品番	定格電圧 (V)	ノッチ		定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量 (m³/h) 0 Pa	風量 (m³/h) 100 Pa	騒音 (dB)	製品質量 (kg)
E60ABWZ3R/L	100	強		50	95	530	430	45	15.0
				60	105	510	430	44	
S60ABWZ3R/L		弱		50	50	330	—	33	
				60	52	300	—	32	
E75ABWZ3R/L		常時	強	50	24	180	—	20	16.5
				60	24	165	—	19	
S75ABWZ3R/L			弱	50	11	90	—	16	
				60	11	90	—	16	

●電球の消費電力：40 W
●消費電力、風量、騒音の測定はJIS C9603による。
●このレンジフードは、ご使用にならないときでも約1Wの電力を消費しています。
※レンジフードに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。

施工前の確認

注 意

- ●レンジフード本体の取り付け工事は、十分強度のある取り付け面または補強桟などに確実に行ってください。（壁材が薄く弱いと、振動音が発生することがあります。）
- ●レンジフード取り付け面の木部に、取り付け用木ねじが確実に届いているか確認してください。

（本体の取り付け用木ねじは、45mmの長さのものが付属されておりますが、壁下地に石膏ボードなどが貼られている場合は、石膏ボードなどの厚さを確認し、取り付け用ねじが確実に木部に届くことを確認してください。）

1. 取付け面の強度確認

製品（15.0～17.0kg）を支える強度が必要です。

■ 板張りの場合

- ●板厚が20mm以上の場合…直接板に取り付けてください。
- ●板厚が20mm以下の場合…壁に補強板を埋め込み、補強板にレンジフードを取り付けてください。

■ コンクリート・タイル壁の場合

あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおくか、カールプラグなどを使用し、固定してください。

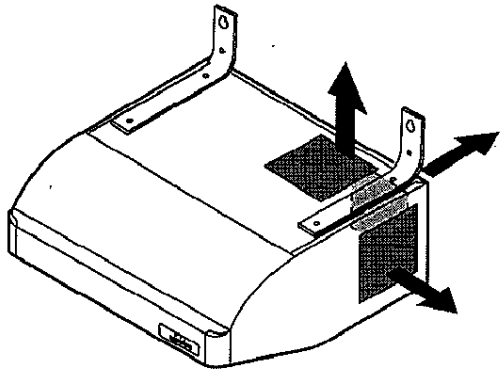
■ 土壁の場合

柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでおいてください。

2. 排気方向の確認 ・ダクト排管について

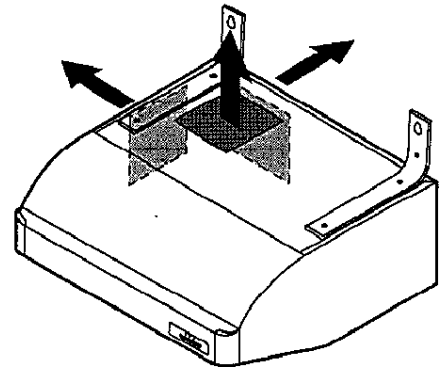
●排気方向に合わせて、Rタイプ・Lタイプをご使用ください。

Rタイプ E60ABWZ3R/S60ABWZ3R
E75ABWZ3R/S75ABWZ3R



右上方排気・右側方排気・右後方排気が可能

Lタイプ E60ABWZ3L/S60ABWZ3L
E75ABWZ3L/S75ABWZ3L



左上方排気・左側方排気・左後方排気が可能

⚠警告

必ず守る

● メタルラス張り・ワイヤラス張り・または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス金属板とが電気的に接触しないよう取り付ける。

接触して漏電した場合、発火したり感電することがあります。

⚠注意

禁止

● 浴室など湿気の多い所では使用しない。（浴室用換気扇を使う。）

感電や事故・故障の原因となります。

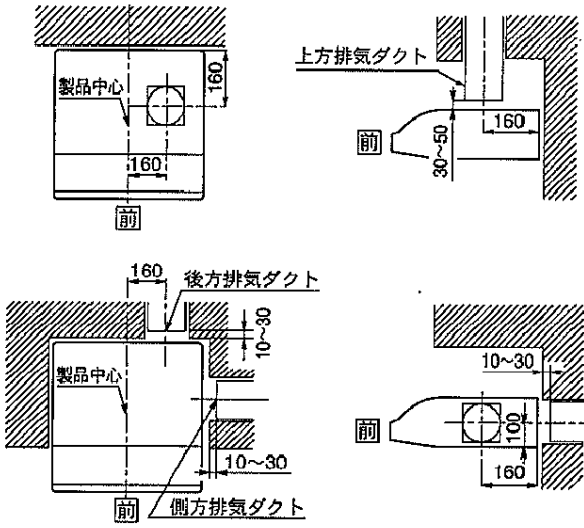
(単位：mm)

●取付場所に応じて排気方向を決めます。

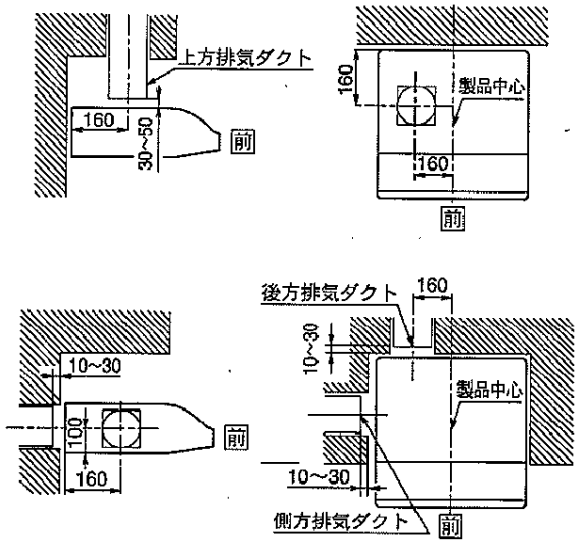
（1） 製品寸法図を参照し、壁穴を開けてください。

（2） φ150のステンレスダクト、またはスパイラルダクトを図のようにレンジフード本体の天面（または側面・後面）にセットして、周囲を仕上げてください。（コンクリート、タイル、土壁の場合）

■ E60ABWZ3R/S60ABWZ3R
E75ABWZ3R/S75ABWZ3R



■ E60ABWZ3L/S60ABWZ3L
E75ABWZ3L/S75ABWZ3L



3. 部品の準備

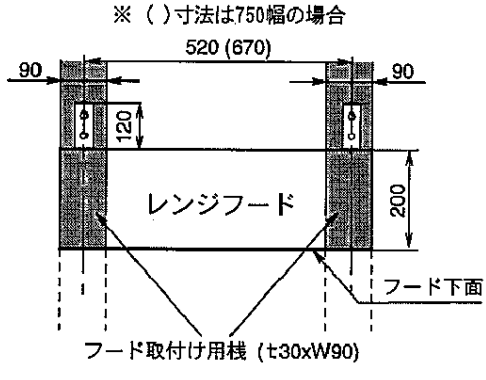
●排気工事に応じた別売部品・現場調達部品の準備が事前に必要です。

※詳しくは別売部品表・現場調達部品表（4ページ）を参照してください。

4. フード取付け用桟工事について

■ フード取付け用桟取付け位置

●取付け用桟は厚み30 mm×幅90 mm程度のもの（できれば防虫処理をしたもの）を使用してください。



⚠注意

必ず守る

● 十分耐える取り付けをする。
しっかり取り付けられていないと、落下によるケガ・騒音・振動の原因となります。

施工前の確認 続き

5. 電気工事について

※配線工事は、電気工事士の資格が必要です。電気工事業者にご依頼ください。

●本機はＡＣ100Ｖ仕様です。
●コンセントは専用コンセントにし、JIS C 8303 接地形 2極 差し込み接続器 15 A 125 Vをご使用ください。
●アース工事を必ず行ってください。（D種接地工事）

■ 漏電遮断器の設置について

●万一の漏電事故時安全確保のために、
漏電遮断器を設置してください。

推奨漏電遮断器	住宅分電盤小形漏電ブレーカー 定格電流20 A、感度電流15mA

6. 24時間換気システム「換気上手」としてレンジフードを使用する場合

●24時間換気システム「換気上手」の施工説明書もあわせてご参照ください。詳しくは工務店様にご確認ください。

7. リモコンとリモコンホルダーについて

●本製品はリモコンから運転操作が可能です。付属のリモコンを用いて操作してください。
（リモコンを設置するホルダーは、調理機器に付属のリモコンホルダーまたは別売の壁付けリモコンホルダーをご使用ください。取り付けはそれぞれの施工説明書に従ってください。）

施工のしかた

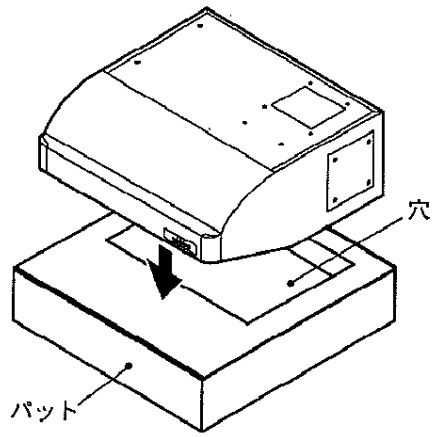
1. 本体と付属品の準備

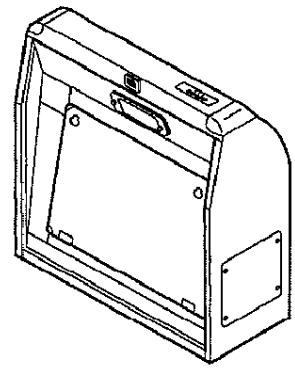
※床で作業を行なう場合、床や本体に傷を付けないために、シートを敷いた上で作業を行ってください。

⚠注意	必ず守る	● 製品の取扱いの際は、厚手の手袋をする。 鋼板の切り口や角でケガをするおそれがあります。

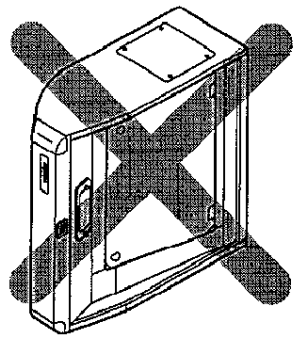
1. 本体を用意する

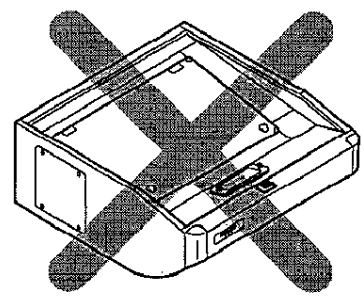
（1） 梱包箱から排気口・ねじなどの付属品を取り出す。
（2） 本体を取り出し、下図のように置く。





下図のような間違った置き方をしない。
（故障やキズの原因となります。）





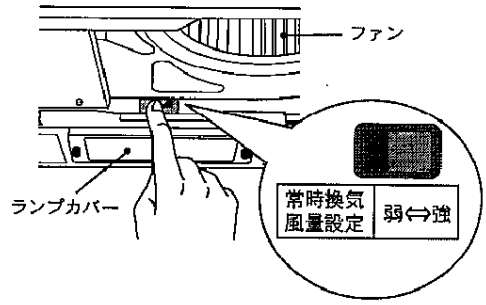
施工のしかた 続き

2. 常時換気風量の設定

このレンジフードは、常時換気モードの強・弱の切替えをすることができます。

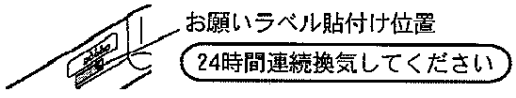
（1） 整流板およびフィルターをはずす。
はずしかたは下記の手順を参照してください。

（2） 常時換気風量切替えスイッチ（ランプカバー付近の内側）で風量を設定する。（出荷時は「常時・弱」に設定）



常時換気設備として使用する場合

適切な風量となるように常時換気風量切替えスイッチを切替え（通常は「常時・弱」）、「常時換気お願いラベル」をフード前面に貼り付ける。



※24時間換気システム「換気上手」としてレンジフードを使用する場合には、24時間換気システムの施工説明書もあわせてご参照ください。詳しくは工務店様にご確認ください。

通常のレンジフードとして使用する場合（常時換気を行わない場合）

常時換気風量切替えスイッチを「常時・強」に切替える。
※「常時換気お願いラベル」は不要です。

整流板のはずしかた

⚠注意

必ず守る

● 整流板を落とさないように両手でしっかりと支える。
落下するとケガをしたり、部品のキズ・変形の原因となります。

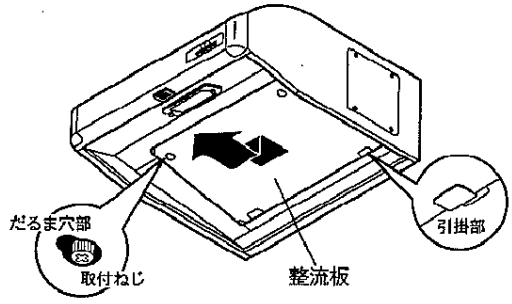
（1） 整流板を固定している左右の取付ねじをゆるめ、だるま穴の中心位置まで手前へずらす。

（2） 整流板を下げながら、本体後方の引掛部をはずし、手前へ取りはずす。

整流板の取り付けかた

（1） 本体後方の引掛部へ整流板を入れながら、だるま穴と取り付けねじの位置を合わせる。

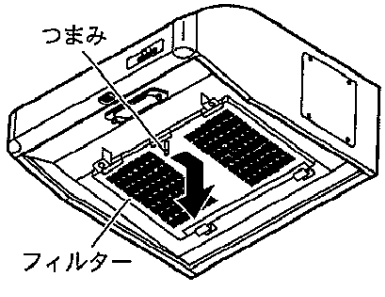
（2） 整流板を押し上げながら、後方へずらして取り付けねじを締めつける。



フィルターのはずしかた

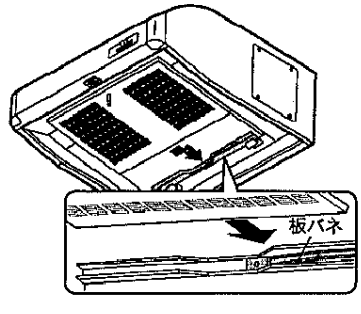
（1） つまみを持ち、押し下げる。

（2） 手前に取り出す。



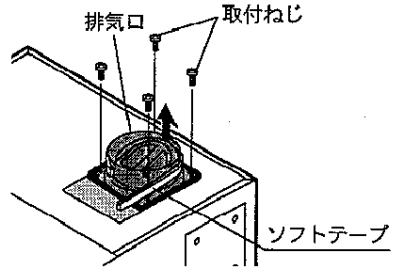
フィルターの取り付けかた

（1） フィルター下部を、本体の板バネの上に乗せて、押しながら取り付ける。



2. 排気口の取付 〈上方排気の場合〉

（1） あらかじめ本体に取り付けてある取付ねじ４本をはずす。
（2） 排気口に付属のソフトテープを貼り、直接フードに取り付ける。
排気口は、シャッターの開く方向に注意して、本体からはずした取付ねじ４本で取り付ける。



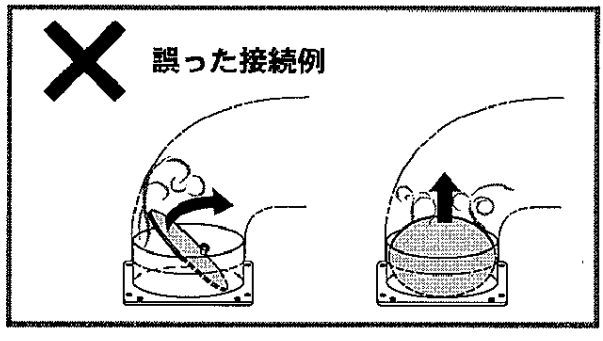
（Rタイプの場合）

●別売のＬ型ダクトを使用する場合

（1） 排気口に付属品のソフトテープを貼り別売のＬ型ダクトに取り付けます。
排気口は、Ｌ型ダクトに付属の取付ねじ４本でＬ型ダクトに取り付ける。
（2） Ｌ型ダクトと本体の取付けは本体に取り付けてある取付ねじで取り付ける。

注 意

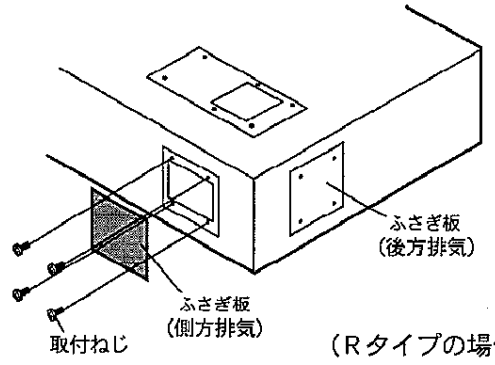
別売のＬ型ダクトを使用しないで、排気口に直接ダクトを接続して側方・後方排気する場合は、シャッターの開く向きに注意して排気口を取り付けてください。図の「誤った接続例」の場合、排気不良や異常音の原因になります。



施工のしかた 続き

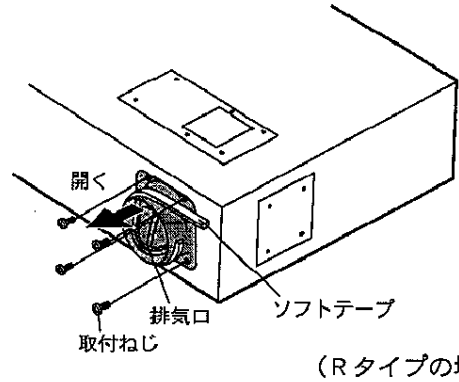
3. 排気口の取付〈側方・後方排気の場合〉

（1） 側方および後方排気の場合、排気口は図のように２か所に取り付けることができる。排気方向を決めて排気位置のふさぎ板をはずす。



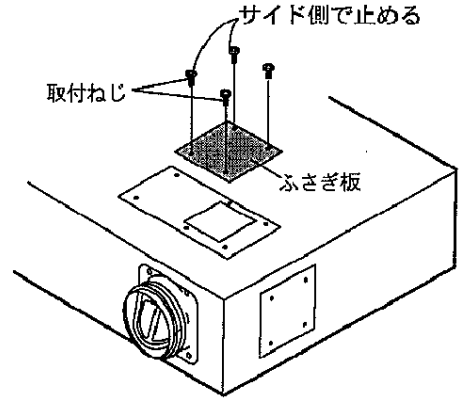
（Ｒタイプの場合）

（2） 排気口に付属のソフトテープを貼り、直接フードに取り付ける。排気口は、シャッターの開く方向に注意して、取付ねじ４本で取り付ける。
（取付ねじ４本は、ふさぎ板を固定していた取付ねじを使用します。）



（Ｒタイプの場合）

（3） はずしたふさぎ板を利用して上方排気用穴を取付ねじ４本でふさぐ。
（取付ねじ４本は、本体からはずした取付ねじを使用します。）



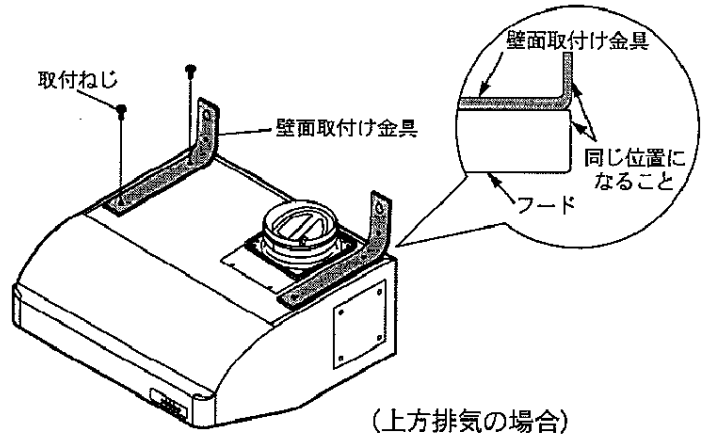
(単位：mm)

2. 本体の取付

⚠注意	
必ず守る	●本体の取り付け工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う。 取り付けに不備があると、落下により、ケガをするおそれがあります。

1. 壁面取付け金具を取付ける

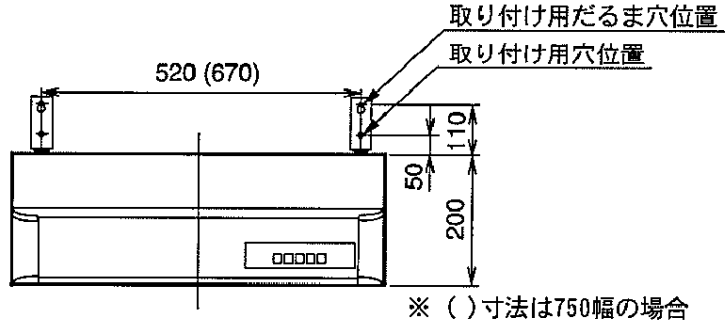
●壁面取付け金具とフードの背面を同じ位置に合わせて取付ねじ4本（M5×10）で取り付ける。
（取付ねじはあらかじめフード上面に取り付けてあります。）

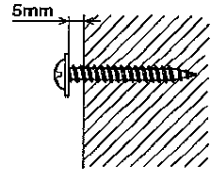


（上方排気の場合）

2. 座付きねじをねじ込む

●壁面取付け金具だるま穴位置に、座付きねじ（φ5.1×45）を壁面から5 mmまで締め付ける。

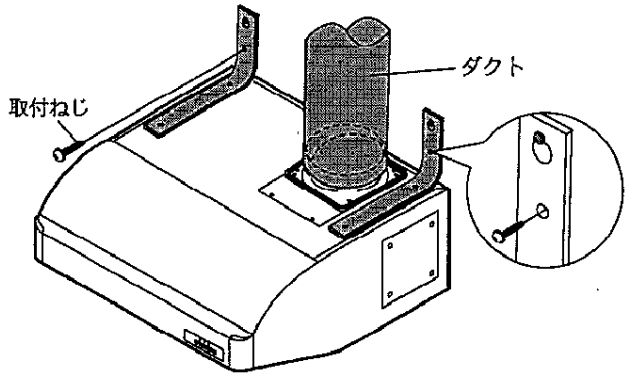




※（）寸法は750幅の場合

3. 本体を取付ける

（1） 壁面固定金具のだるま穴を、座付きねじに引っ掛けてつり下げ、しっかり締め付ける。
（2） 座付きねじ（φ5.1×45）2本でだるま穴下側の固定穴、左右2か所をしっかり締め付ける。



注 意

ダクトに排気口を差し込みながらフードを取り付ける。

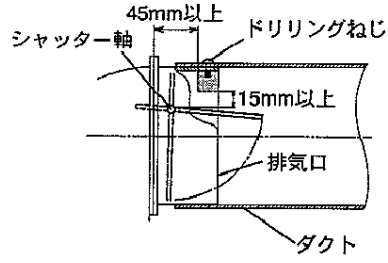
施工のしかた 続き

（単位：mm）

3. ダクトと排気口の接続

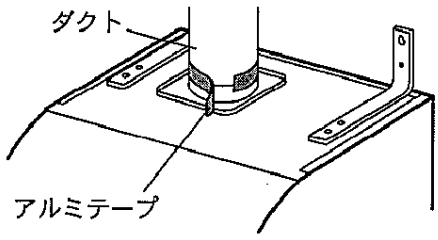
注 意

ドリリングねじなどで排気口を固定する場合、シャッターにねじが当たらないようにドリリングねじ使用範囲内に固定する。（右図参照）

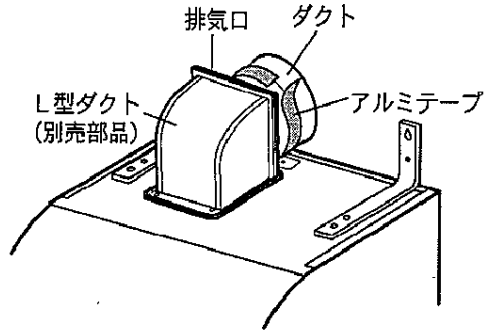


●ダクトに風もれ防止のテーピング（アルミテープ）を行う。

上方排気の場合



側方・後方排気の場合
—L型ダクト（別売部品）を使用する場合—



4. 別売部品の取り付け

電動気密シャッター・給気電動シャッターの取り付け

⚠警告

必ず守る

- **電線は確実に差し込む。**
  接続が不十分な場合、端子部が過熱し火災のおそれがあります。
- **必ず分電盤のブレーカを切って施工する。**
  ブレーカを切らずに作業をすると、感電やケガのおそれがあります。
- **電線の充電部は必ず絶縁処理する。**
  感電のおそれがあります。

⚠注意

必ず守る

- **接続するシャッターはそれぞれ5W以下のものを使用する。**
  火災や機器故障の原因となります。

本レンジフードには、運転に連動させてシャッターを開閉することができる接続コネクターがついています。

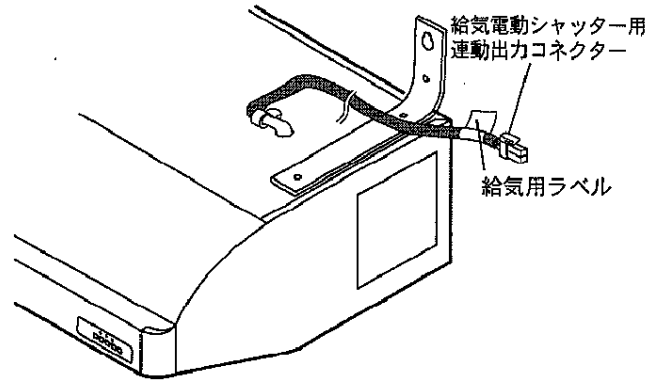
※ 接続は「電気設備技術基準」や「内線規程」に従って確実に接続してください。
配線工事は、電気工事士の資格が必要です。

※ シャッターの施工は機器に付属の施工説明書に基づき確実に行ってください。

	運転モード		
	常時	弱	強
給気電動シャッター用出力（給気用）	出力なし	AC100V	AC100V

1. シャッター本体の取り付け
   給気電動シャッターの施工説明書に基づき施工する。

2. 結線方法
   給気シャッター用連動出力コネクターに給気電動シャッター用接続コードを用いて給気電動シャッターに接続する。



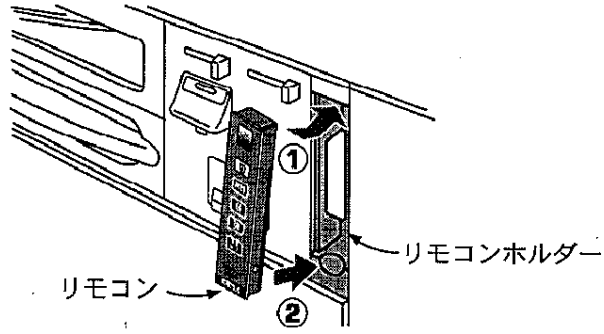
施工のしかた 続き

5. リモコンホルダーの取付

●調理機器に付属のリモコンホルダーまたは別売の壁付け用ホルダーを、それぞれの施工説明書に従い、取り付ける。

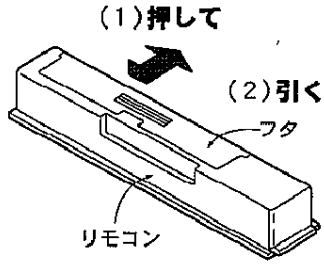
6. リモコンの取付

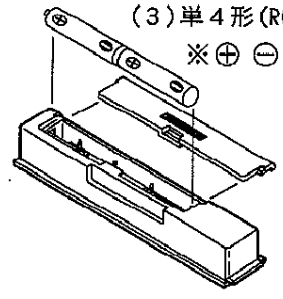
●リモコンホルダーに上から斜めに差し入れて、持ち上げながら押し込む。



電池の入れかた

（1）フタを押しながら
（2）引いてあける
（3）付属の乾電池（単４形 ２本）を入れ、
（4）「カチッ」と音がするまでフタを押し込む





7. 電気配線

⚠警告	
必ず守る	●必ず交流100 Vを使用する。 守らないと、火災・感電の原因となります。

1. 電源プラグを差し込む

専用コンセントを取り付け、電源プラグを差し込む。

施工後の確認

1. 動作確認

●分電盤のブレーカーを「入」にして、本体操作スイッチでの動作を確認する。

リモコンスイッチでの動作確認を行う。
リモコンスイッチの操作は、リモコンホルダーに組み込んだ状態で動作確認する。

確認項目	チェック欄
常時	
弱	
強	
照明	
切	

●運転時、排気が正しく行われていることを確認する。
※羽根は回っていますか？
●異常な騒音・振動がないことを確認する。
●本体操作スイッチの「切」ボタンを３秒以上押し続けるとロック状態となり、本体操作スイッチおよびリモコンスイッチの操作を受け付けなくなる。(ロック状態では運転表示ランプ全てが点滅して、お知らせします。)
ロックを解除するには、再度本体操作スイッチの「切」ボタンを３秒以上押し続ける。

2. お客様への説明

■取扱説明書によって機器の取り扱いを説明する。
■保証書に必要事項を記入のうえ、保管のお願いをする。
■取扱説明書と共に、この取付説明書は必ずお客様にお渡しする。